

令和 2 年 1 月 3 1 日  
航空局航空ネットワーク企画課

## 空港のハンドリング体制を強化、訪日外国人旅行者のさらなる増加へ！

### ～グランドハンドリング アクションプランを策定～

訪日外国人旅行者数 4000 万人、6000 万人の受け入れのため、訪日外国人旅行者の主なゲートウェイとなる空港におけるハンドリング体制の強化・拡充を目指し、「人材の確保、教育の強化」「資機材の共通化等による生産性の向上」「業界の構造改善」を柱とする対応策をとりまとめました。

○ グランドハンドリングは、航空機が空港に到着してから出発するまでの限られた時間内で行われる、航空機の航行に欠かせない作業の総称です。

その内容は航空機の誘導や客室の整備、旅客の案内、手荷物・貨物の搭降載、燃料の給油など、多岐にわたります。【別紙<参考>参照】



作業の例：マーシャリング  
(航空機を駐機場に誘導)



作業の例：手荷物のコンテナへの搭載



作業の例：貨物の航空機への積込

○ 今般策定したアクションプランは、「人材不足」と「事業者間の連携欠如」というグランドハンドリングに係る 2 つの大きな課題について、対応策をとりまとめたものであり、以下の 3 つを柱としています。【別紙<アクションプラン>参照】

#### < 3 つの柱 >

1. 人材確保、教育の強化 (例：外国人材の受入、離職率低下に向けた取組)
2. 資機材の共通化等による生産性の向上 (例：資機材共有化スキームの構築に向けた検討)
3. グランドハンドリング業界の構造改善 (例：空港管理者等とグラハン各社との連携強化)

○ このアクションプランに基づき、グランドハンドリング事業者、空港会社、航空局等の関係者が一丸となり、系列を超えた体制強化とさらなる能力向上の実現に取り組んでいきます。

#### 【問合せ先】

航空局航空ネットワーク部航空ネットワーク企画課 北川、渡延

代表：03-5253-8111 (内線 49-102、49-624)、直通：03-5253-8715

F A X：03-5253-1658

# グランドハンドリング アクションプラン(概観)

## 問題の所在

### 人材不足

- ・採用難
- ・厳しい労働環境、高い離職率
- ・長い訓練期間  
研修期間例)  
機体のプッシュバック：11週間  
ボーディングブリッジ装着：6週間  
給油業務：1年

### 事業者間の連携欠如

- ・系列を超えた需給調整の仕組みが不在
- ・チームがシフト制で勤務、他空港への応援派遣など柔軟な対応は困難
- ・各社が資機材を所有、ピーク時に資機材が不足する等の非効率が発生

※事業者の売り上げは増加傾向

個社の取組に加え、共通化等による系列を超えた体制強化の実現が必要

## 1. 人材確保、教育の強化

- ①外国人材の確保
- ②採用拡大及び離職率低下に向けた取組
- ③人材育成の共同化推進

### KPI

5年間の外国人材の受入数  
(2019年～2023年)

- 特定技能制度：2000人
  - 技能実習制度その他：2000人
- ⇒4000人を受入

## 2. 資機材の共通化等による生産性の向上

- ①資機材の共通化、共有化の推進
- ②先進機器の導入による効率化
- ③空港の運用改善による効率化

### KPI

業務の効率化・省人化  
(2019年～2023年)

- 1人あたりの生産性10%向上

## 3. グランドハンドリング業界の構造改善

- ①系列を超えた調整メカニズムの構築
- ②空港管理者等とグラハン各社との提携強化
- ③業務プロセスの共通化
- ④業界自らによる将来への投資促進

## 1. 人材確保、教育の強化

### ①外国人材の確保

#### ○特定技能関係 —5年間で2000人規模

・特定技能制度の新規導入【航空局】

第1回試験 東京 : 11/15

フィリピン(マニラ) : 11/23

第2回試験 東京 : 令和2年2月18日

・試験規模、受入対象国、対象業務の拡大【航空局】

#### ○技能実習その他 —5年で2000人規模 〈技能実習制度〉

ミャンマー以外の送り出し国の追加、実施企業の拡大、ケータリング等対象業務の追加【航空局】

#### 〈その他の在留資格〉

・「技術・人文知識・国際業務」や「企業内転勤」等の在留資格を徹底的に活用し、大学卒・専門学校卒・高校卒の採用を拡大【事業者】

### ②採用拡大及び離職率低下に向けた取組

#### ○国内外のグラハン人材の裾野の拡大

・航空専門学校とグラハン会社、空港会社、空港事務所との連携強化【航空局、事業者、空港会社等】



#### ○従業員の処遇・労働環境の改善

・給与・福利厚生等の処遇改善【事業者】

・休憩室、更衣室、シャワールーム、駐車場、冷暖房等の確保【空港会社、事業者】



#### ○女性等の活躍に向けた環境整備

・女性用休憩室、パワーアシストスーツの導入等【空港会社、事業者】

#### ○空港をとりまく環境の改善

・深夜、早朝時間帯の空港アクセス向上、空港周辺の住居確保など  
更なる就業環境の改善【空港会社、事業者】



### ③人材育成の共同化推進

・共同研修や訓練用シミュレーターの共有化に向けた検討【航空局、事業者、空港会社等】

## 2. 資機材の共通化等による生産性の向上

### ① 資機材の共通化、共有化の推進

- ・共通仕様の資機材を空港会社等が一元的に保有する「グラハン資機材共有化スキーム」を構築【航空局、事業者、空港会社等】



### ② 先進機器の導入による効率化

- ・自動運転ランプバス等先進技術の導入【航空局、事業者】



### ③ 空港の運用改善による効率化

- ・資機材の配置スペース確保【航空局】
- ・空港間応援派遣を円滑にするための制限区域内運転試験等の多頻度化、多言語化【航空局】
- ・ハイドラントの整備やデアイシング体制の一元化等生産性向上のための検討 (新千歳空港等)【航空局、事業者、空港会社等】

## 3. グランドハンドリング業界の構造改善

### ① 系列を超えた調整メカニズムの構築

- ・本省・本社で開催する国際線誘致対策会議や空港ごとの対策会議を通じたグラハン各社間の連携強化、不調回避メカニズム構築【航空局、事業者、空港会社等】

### ② 空港管理者等とグラハン各社との提携強化

- ・ポートセールスを行う空港管理会社・空港運営権者等とグラハン各社の提携強化による総合力向上【航空局、事業者、空港会社等】

### ③ 業務プロセスの共通化

- ・給油業務・航空貨物業務等について、会社ごとの作業手順の相違を検証し、規格化に向け検討【航空局、事業者等】

### ④ 業界自らによる将来への投資促進

- ・インバウンドの現状及び将来に関する情報共有を強化し、グラハン各社の自主的な投資判断を促進【航空局、事業者、空港会社等】



# 【参考】空港グランドハンドリング

着陸 

 離陸

